

環境経営レポート

No.14

令和 5年度（令和 5年 8月 ～ 令和 6年 7月）

発行日：令和 6年 10月 1日



株式会社 広瀬組



®環境省

エコアクション21
認証番号0007061

環境経営方針

基本理念

株式会社 広瀬組は、地域社会と共生し、地球環境の保全に対し、自主的・継続的に取り組み全社員が一丸となり、あらゆる環境負荷の低減に努力する。

方針

株式会社 広瀬組は、その事業活動により生ずる環境負荷を低減するために、次の方針に基づき、環境経営活動を推進し、地球環境との調和と共生を目指す。

1. 当社の事業活動に関わる環境への影響を常に認識し、自主的・積極的に環境負荷の低減へ取り組むと共に継続的な環境負荷の削減を図る。
2. 当社の事業活動に関わる環境関連の法令はもとより、徳島県条例、那賀町条例、その他関係する全ての法を遵守する。
3. 当社の事業活動に関わる環境への影響のうち、以下の項目を重点的に環境管理のテーマとして取り組む。
 - ① 二酸化炭素排出量の削減
 - ② 水資源使用量の削減
 - ③ 廃棄物の削減及びリサイクルの推進
 - ④ 事務用紙使用量の削減
 - ⑤ 事業所、現場周辺の清掃活動と社会貢献活動
 - ⑥ 化学物質の適正管理
 - ⑦ 環境に配慮した資材・機材の使用
 - ⑧ 徳島SDGsパートナー制度に登録
4. 社員一人ひとりが環境負荷の低減活動を積極的に実践できるように、この環境経営方針を全従業員と共有すると共に、環境経営レポートや社内報で公表する。
上記の方針達成のために、年次目標を設定し、定期的に見直し改善し環境経営システムを構築する。
5. 環境経営の継続的改善に取り組む。

制定日	平成	22年	8月	26日
改定日	平成	23年	11月	10日
改定日	令和	元年	8月	1日
改定日	令和	2年	8月	1日
改定日	令和	6年	2月	28日
改定日	令和	6年	10月	1日

株式会社 広瀬組
代表取締役 広瀬 芳弘

◆ 事業所の概要

(1) 事業者名及び代表組織

株式会社 広瀬組
本社、倉庫1、倉庫2

(2) 所在地

本社：徳島県那賀郡那賀町土佐字南町84-1 (面積：455.96m²)
倉庫1：徳島県那賀郡那賀町和食郷字八幡原90-2 (面積：685.00m²)
倉庫2：徳島県那賀郡那賀町和食郷字南川247-1 (面積：375.92m³)



徳島県庁より40km 1時間、JR桑野駅より車で15分

(3) 環境保全関係の責任者及び連絡先

環境管理責任者	専務取締役	広瀬 利幸
連絡先	TEL	0884-62-1131
	FAX	0884-62-3055
	E-mail	info@hirose-gumi.com
	URL	http://www.hirose-gumi.com

(4) 事業の概要

◇ 特定建設業：徳島県知事許可(特-3)第169号

許可年月日 令和3年9月30日

建設業の種類 土木工事業、建築工事業、とび・土工事業、しゅんせつ工事業、水道施設工事業、解体工事業

◇ 産業廃棄物収集運搬業：徳島県知事許可番号 3600134849

(取り扱う産業廃棄物の種類)

廃プラスチック類、紙くず、木くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類

※ 令和5年度では、この事業の実態、実績がなかったので、この事業に関してはEA21の対象事業活動には含まれておりません。

(5) 事業の規模

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
年間売上高 (百万円)	821	857	948	838	718	867
従業員数 (名)	34	34	32	32	29	29

決算期日 7月31日

床面積 455.96 m²

倉庫延べ面積 1060.92 m²

設備機械類 バックホウ、ショベルローダー、水中ポンプ、油圧ブレーカー、発電機、ダンプトラック (11 t 車=4台保有)

◆ 認証・登録対象組織・活動

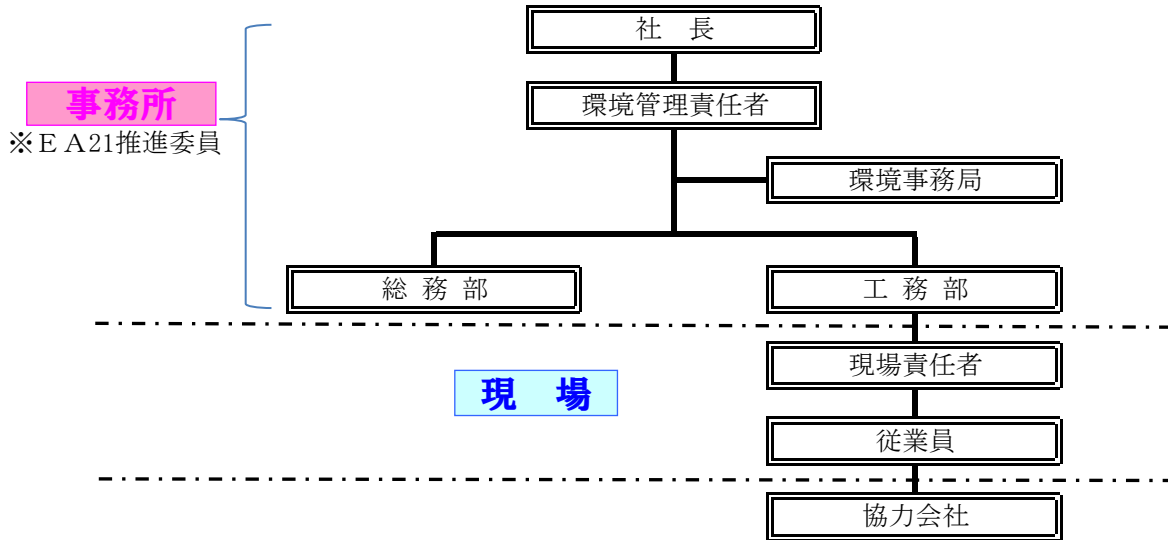
(1) 事業者名及び代表組織

株式会社 広瀬組 本社、倉庫1、倉庫2

(2) 対象範囲

全組織の全従業員による全活動

(3) 組織体制



	役割 ・ 責任 ・ 権限
社長	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施及び管理に必要な資源の確保 環境管理責任者を任命 環境経営目標・環境経営計画書を承認 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境経営レポートの承認 全体の評価と見直しを実施
環境管理責任者 専務	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 法規制等の要求事項登録簿を承認ならびに環境関連法令の順守チェック 環境経営計画書を承認 環境経営レポートの確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告
環境事務局 E A21推進委員 専務 広瀬弘 田中 金元 堀口 広瀬洋 呉羽豪 中山 加田 呉羽 小川 森	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者、E A 2 1 推進会議の事務局 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 環境経営目標・環境経営計画書原案の作成 環境経営計画の実績集計 環境経営レポートの作成 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境関連法令の順守チェック
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営システムの実施 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境経営目標及び環境経営計画の実施及び達成状況の報告 特定された項目の手順書作成及び運用管理 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録 自部門の問題点の発見、是正、予防処置
現場責任者	<ul style="list-style-type: none"> 現場における、環境経営目標及び環境経営計画の実施 協力会社への指導
全従業員および 協力会社	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針を理解と環境への取組の重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

◆ 環境経営目標とその実績

項目	年度 単位	基準値 R2～R4 (3年間) 実績平均値	令和5年度 R5年8月～R6年7月			令和6年度 R6年8月～R7年7月	令和7年度 R7年8月～R8年7月	令和8年度 R8年8月～R9年7月
			目標 R2～R4 (3年間) 実績平均値より 1% 削減	実績	判定	R2～R4 (3年間) 実績平均値より 2% 削減	R2～R4 (3年間) 実績平均値より 3% 削減	R2～R4 (3年間) 実績平均値より 4% 削減
事務所								
CO2排出量	kg-CO2	13,563	13,427	12,252	○	13,291	13,156	13,020
電力使用量	kWh	9,835	9,737	9,351	○	9,639	9,540	9,442
燃料	L	3,537	3,502	3,068	○	3,466	3,431	3,396
水使用量(排水量)	m3	94	93	85	○	92	91	90
一般廃棄物	t	0.580	0.574	0.546	○	0.568	0.562	0.556
事務用紙使用量	t	0.373	0.370	0.240	○	0.366	0.362	0.358
社会貢献活動への参加	回	3	3	3	○	3	3	3
現場								
CO2排出量	kg-CO2	365,329	361,676	206,196	○	358,023	354,369	350,716
電力使用量	kWh	11,856	11,737	11,417	○	11,619	11,500	11,381
燃料	L	140,546	139,140	78,860	○	137,735	136,330	134,924
産業廃棄物 (再資源化率 97%以上)	%	97.0	97.0	99.7	○	97.0	97.0	97.0
環境配慮型資材・機材の使用	品	7	7	7	○	7	7	7

- ※ 目標値の設定方法については過去3年間(今回R2～R4)の実績の平均値より年度ごとに1%の削減を目標とする。
- ※ 産業廃棄物については工事により変動するのでリサイクル率、また混合物はマニフェストの管理が充分かを基準とした。
- ※ 現場での環境配慮型資材・機材の目標数値は使用品目の合計とする。使用数も平成28年度を基準とし毎年7品を超えることを目標とする。
- ※ 化学物質については例年使用実態はない
- ※ 事務所グリーン購入の推進については、ガイドライン2017年度版へ移行したため令和2年度より除外した。
- ※ 電力排出係数は 四国電力(株)の調整後排出係数0.528kg-CO2/kWh(令和2年度)を使用する。

◆ 主要な環境経営計画の内容 取組み結果の評価 令和5年度

(令和5年8月～令和6年7月)

事務所

取組み計画	SDGsのつながり	達成状況	評価
①電力使用量の削減 ・夏場の冷房温度を下限26℃に設定 ・クールビズ・ウォームビズの励行 ・不要時の消灯を実施 ・照明機器、エアコン、窓の掃除を年1回行う ・使用していないコンセントをこまめに抜く ・夏場 西日対策としてたてすを設置	 	目標 : 9,737 kWh 実績 : 9,351 kWh -4.0 % 達成	目標 達成 節電を心掛け意識して取組めた 不要箇所の消灯、またエアコンの温度調整にも気を付けた
②燃料使用量の削減 ・アイドリングストップの徹底 ・車輛の定期点検の実施 ・エアコンは控えめに使う		目標 : 3,502 L 実績 : 3,068 L -12.4 % 達成	目標 達成 車両の提起点検を実施し、エコドライブを掛けた
③上水使用量の削減 ・こまめに蛇口をしめる ・洗車、散水時の節水		目標 : 93 m3 実績 : 85 m3 -8.6 % 達成	目標 達成 節水に取組んだ
④廃棄物排出量の削減（一般廃棄物） ・廃棄物の分別・リサイクル ・簡易梱包にて注文 ・使い捨て製品の使用や購入の抑制 ・家電リサイクル法の遵守	 	目標 : 0.576 t 実績 : 0.546 t -5.2 % 達成	目標 達成 再資源化ごみの廃棄にも留意し ごみの分別を心掛けた
⑤事務用紙使用量の削減 ・両面コピー、裏紙利用の励行 ・ミスコピーの防止 ・印刷前の設定確認を行う ・コピー機の使用後、設定をリセットする		目標 : 0.370 t 実績 : 0.240 t -35.1 % 達成	目標 達成 ミスコピーを減らす工夫をしているが 設定画面の確認不足も多い
⑥ 清掃活動 ・アプト活動を年3回実施 ・事務所周辺の清掃美化活動を推進 ・エアコンの定期点検を行う ・事務所内の整理整頓	  	目標 : 3 回/年 実績 : 3 回/年 達成	目標達成 アプト活動を実施
総括 全項目で目標達成 各自、自然と活動に取組めており、意識は高い 節電においても不要箇所の消灯や、不要プラグを抜くなど実践できている 事務用紙削減目標については数字は達成できているが、ミスコピーが目立つので 今後も注意して取り組む			

◆ 主要な環境経営計画の内容 取組み結果の評価 令和5年度

(令和5年8月～令和6年7月)

現 場

取組み計画	SDGsのつながり	達成状況	評価
①電力使用量の削減 <ul style="list-style-type: none"> 夏場の冷房温度を下限26℃に設定 クールビズ・ウォームビズの励行 不要時の消灯を実施 使用していないコンセントをこまめに抜く 	  	目標： 11,737 kWh 実績： 11,417 kWh 削減率： -2.7 % 達成	目標達成 節電を心掛け取組めた 空調の温度管理が難しかった
②燃料使用量の削減 <ul style="list-style-type: none"> 車・リフトのアイドリングストップの徹底を行う 作業車両の定期点検の実施 ダンプトラックの過積載防止 移動時は乗り合わせを行い、使用車両を減らす 最短ルートでの移動を心掛ける 不要な荷物を減らし軽量化を図る 	 	目標： 139,140 L 実績： 78,860 L 削減率： -43.3 % 達成	目標達成 工事量に比例 エコドライブを心掛け、 乗り合わせを行った
③廃棄物排出量の削減及びリサイクルの推進 (産業廃棄物) <ul style="list-style-type: none"> 廃棄物の保管場所と掲示 マニフェストによる適正な処理の管理 マニフェスト交付状況を県に報告 建設リサイクル率97%以上 	 	目標： 97.0 % 以上 実績： 99.7 % 達成 産業廃棄物排出量 = 721.95t	目標達成 産廃の委託契約書やマニフェスト など法を順守し処理できた
④現場周辺の清掃活動と社会貢献活動 <ul style="list-style-type: none"> 倉庫内の整理・片付けを心掛ける 現場周辺の清掃美化活動を推進する 資源ごみの適正処理 大型車走行による路面汚れに注意 共用する備品の管理の徹底 	 	目標： 100.0 % 実績： 100.0 % 達成	目標達成 清掃美化活動を行い ゴミの分別廃棄にも注意した
⑥環境配慮型資材・機材の使用 <ul style="list-style-type: none"> 環境に配慮した資材の使用 省エネ・省資源型の建設機械の積極的使用 作業規模に応じた機械の運転 ICT施工の活用 	 	目標： 7 品/年 実績： 7 品/年 達成	目標達成 遵守し、目標達成できた
総括 全項目にて目標達成 燃料使用量については、工事の施工箇所や内容等による要因が大きい エコドライブなど 各自意識して取組めた 猛暑により、空調の温度管理が難しかった 熱中症対策も充分に行い、環境にも負荷のかからない形で対応していきたい			

◆ 次年度の取組み内容

令和6年度 環境経営計画 (事務所)

< 項目 >	< 内容 >	< 実行者 >
◇ 温暖効果ガス発生量の削減(総エネルギー投入量の削減)		
① 電力使用量の削減	夏場の冷房温度を下限26℃に設定 クールビズ・ウォームビズの励行 不要時の消灯を実施 照明機器、エアコン、窓の掃除を年1回行う 使用していないコンセントをこまめに抜く 夏場 西日対策としてたてすを設置	… 社長, 環境管理責任者以下全員
② 燃料使用量の削減	アイドリングストップの徹底 車両の定期点検の実施 エアコンは控えめに使う (追加) 急加速・急減速をしない	… 社長, 環境管理責任者以下全員
◇ 上水使用量の削減		
③ 節水	こまめに蛇口をしめる 洗車、散水時の節水	… 社長, 環境管理責任者以下全員
◇ 廃棄物再資源化率の向上		
④ 廃棄物排出量の削減	廃棄物の分別・リサイクルを心掛ける 簡易梱包にて注文 使い捨て製品の使用や購入の抑制 家電リサイクル法の遵守	… 社長, 環境管理責任者以下全員
◇ 事務用紙使用量の削減		
⑤ 事務用紙使用量の削減	事務用紙は、可能な限り両面コピーとし使用量の最小化を図る ミスコピーの防止に努める 印刷前の設定確認を行う コピー機の使用後、設定をリセットする	… 社長, 環境管理責任者以下全員
◇ 事務所の清掃等社会貢献		
⑥ 事務所の清掃活動を社会貢献活動	アドプト活動を年3回実施する 事務所周辺の清掃活動を推進する エアコンの定期点検を行う 事務所内の整理整頓	… 社長, 環境管理責任者以下全員
◇ その他		
⑦ 環境教育の実施	月一回ミーティング時に実施する	… 社長, 環境管理責任者以下全員

◆ 次年度の取組み内容

令和 6年度 環境経営計画 (現場)

< 項目 >	< 内容 >	< 実行者 >
◇ 温暖効果ガス発生量の削減(総エネルギー投入量の削減)		
① 電力使用量の削減	夏場の冷房温度を下限26℃に設定 クールビズ・ウォームビズの励行 不要時の消灯を実施 使用していないコンセントをこまめに抜く (追加) ブラインドを活用する	・・・ 工務部部長以下全員
② 燃料使用量の削減	車・リフトのアイドリングストップの徹底を行う 作業車両の定期点検の実施 ダンプトラックの過積載防止 移動時は乗り合わせを行い、使用車両を減らす 最短ルートでの移動を心掛ける 不要な荷物を減らし軽量化を図る	・・・ 工務部部長以下全員
◇ 廃棄物再資源化率の向上		
③ 廃棄物排出量の削減及びリサイクルの推進	廃棄物の保管場所と掲示 マニフェストによる適正な処理の管理 マニフェスト交付状況を県に報告 建設リサイクル率97%以上	・・・ 工務部部長以下全員
◇ 現場周辺の清掃活動と社会貢献活動		
④ 現場周辺の清掃活動と社会貢献活動	倉庫内の整理・片付けを心掛ける 現場周辺の清掃美化活動を推進する 資源ごみの適正処理 大型車走行による路面汚れに注意 共用する備品の管理の徹底	・・・ 工務部部長以下全員
◇ 化学物質の適切な管理		
⑤ 化学物質の適切な管理	物質の漏れ又は蓋の閉め忘れ等の管理 紛失に注意する PRTR法対象物質の使用量(又は購入量)の管理・記録	・・・ 工務部部長以下全員
◇ 環境に配慮した資材・機材の使用		
⑥ 環境に配慮した資材・機材の使用	環境に配慮した資材の使用 省エネ・省資源型の機械の積極的使用 作業規模に応じた機械の運転 ICT施工の活用	・・・ 工務部部長以下全員
◇ その他		
⑦ 環境教育の実施	月一回ミーティング時に実施する	・・・ 工務部部長以下全員

◆ 環境経営活動状況

【アプト活動】

- ★ 年3回実施
- ★ ゴミ拾い及び除草作業を行った

R5.11月



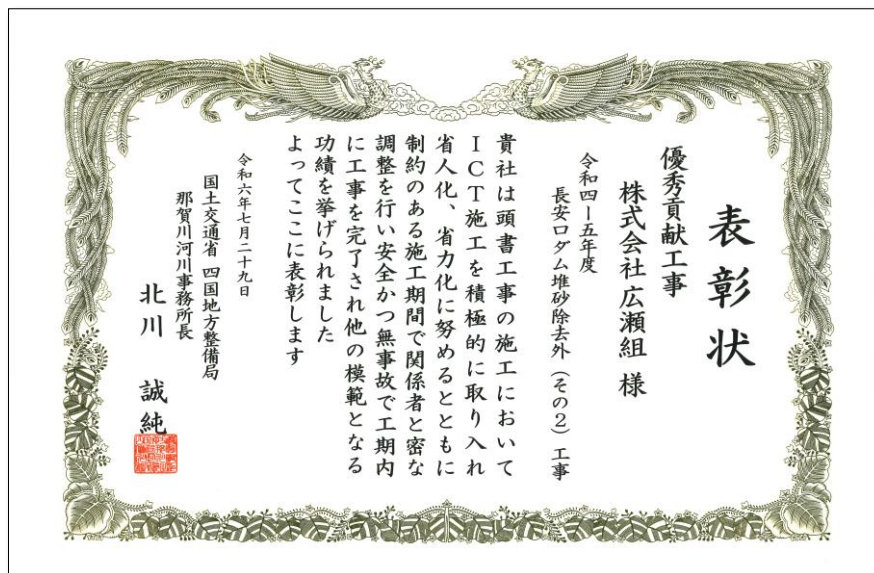
R6.3月



R6.7月



【ICT施工 優秀貢献工事表彰】



◆ 環境関連法規制等の順守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである

区 分	適用される法規制	適用される施設等	遵守評価結果
環境一般	環境基本法	事務所・現場	○
	グリーン購入法	事務所・現場	○
	地球温暖化対策の推進に関する法律	電気・燃料	○
廃棄物	環境配慮促進法	事務所・現場	○
	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 産業廃棄物	現場	○
	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 一般廃棄物	事務所	○
徳島県条例	徳島県生活環境保全条例	事務所・現場	○
那賀町条例	那賀町廃棄物の処理及び清掃に関する条例	事務所・現場	○
	建設工事に係る資材の再資源化に関する法律 (建設リサイクル法)	現場	○
	特定家庭用機器再商品化法	事務所・現場	○
大気汚染	特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律 (オフロード法)	現場	○
水質汚濁	下水道法	事務所	○
騒音・振動	騒音規制法	現場	○
フロン関係	フロン排出抑制法	現場	○

環境関連法規制等の順守状況の定期評価の結果、環境法規等の逸脱はありませんでした
また、過去3年間にわたって、違反や訴訟もありませんでした
なお、関係当局より違反等の指摘はありません

◆ 代表者による全体評価と見直し・指示の結果

今期も事務所および現場ともに 全項目達成できた
現場の施工内容や規模等による要因も大きいですが、CO2排出量の削減に取り組むためには
今後もICT施工に注力し、環境負荷を抑える工夫をしたい
物価上昇によるコスト高も意識しつつ 燃料使用量の削減や節電に対し
社員ひとりひとりが関心を高め 取組んでもらいたい
事務所、現場ともに全項目達成できており、目標の設定方法やレベルにも問題はなかったと
判断し活動を継続する
本年度 徳島SDGsパートナー制度にも加入することもあり
経営方針に 今後も継続して取り組むテーマに加えた
今後も社員とのコミュニケーションを充分図り、無理無駄のない活動で
故郷の環境を守ってゆきたい

以 上

見直し項目	変更の有無
環境経営方針	無
環境経営目標及び環境経営計画	無
実施体制	無